



今年も残すところ2週間ほどになりました。年末年始に向けてクラブの試合や、楽しい予定が入っていて「読書している暇なんてない」かもしれませんが、本でも短編集であれば1話5分くらいで読めるものもありますし、本でなくても新聞の「コラム」に目を通すのもよいと思います。この冬休み、挑戦してみてください。

高3の中には、入学予定の学校から「課題」が出ている人もいます。各校から出ている課題図書かだいとしょの情報を図書館にも教えてください。図書館では、課題図書かだいとしょにも対応しています。一度、司書に確認してみてください。

## <お知らせ>

冬休み貸出が12月11日(水)からスタートします。1人10冊まで。  
返却期限は、1月10日(金)です。



## <今月のおすすめ本>

『日本に住んでいる世界のひと』 金井真紀/文・絵 大和書房/刊

コロナで外国からの観光客が一時激減していましたが、徐々に日本を訪れる外国の人たちが増えてきました。政府をはじめ各業界では、インバウンドによる増収益を見込んでいます。確かに、一時期目立っていた中国人観光だけでなく、あらゆる国からの観光客の姿を目にすることが増えましたね。

今回紹介する本は、観光で来日する外国の人ではなく、『いま日本に住んでいる外国の人々』を取りあげています。現在、日本に住む在留外国人は、358万8956人(令和6年6月末現在)です。しかし、この数字は帰化、難民申請中、非正規滞在(在留資格を持たない)の人は含まれていません。だから、実際にはもっとたくさんの方が日本に暮らしていると推測できます。そんな日本に住む外国の人は、それぞれ日本に住む理由があり、その暮らしぶりも様々です。この本では、日本で暮らす18人の外国の人を取り上げます。日本社会の中で、彼らがどのように生活しているのかを知ってください。

